

さらなる発展をめざす三多摩協議会 第10回定期大会を迎える 500名組織確立へ



10回目となる三多摩協議会の定期大会は、8月4日午後、北多摩西教育会館にて開催、来賓含む組合員32人が参加しました。

宮田清志委員長の冒頭挨拶、八王子合同法律事務所からは塚本弁護士、三多摩労連の津川事務局長、土建八王子支部書記長、日本共産党の岡田労働部長等からご挨拶をいただきました。また、最後に本部より白滝書記長が最賃審議情勢や労基法改悪の動き、都知事選結果、本部規約改訂問題と三多摩での組織づくり等について報告をいただきました。

大江書記長よりの議案提案後に労働相談、交渉中の3人が前に立ち現状を報告、一緒に闘う決意を表明し大きな拍手に包まれました。

討議は障がい者就労の労働相談の課題、未組織労働者の組織化対応、女性役員増の努力など発言がありました。

大江書記長は、CU本部の続開大会で規約改訂が予定される事ので、三多摩として会計報告予算を含め、9月8日に「続開大会」を開催し、改めて報告提案する事ので了承を求め全体で確認しました。

最後に次期執行部の提案があり、宮田委員長、大江書記長以下、6人の副委員長と新書記次長の木口栄さん他含む書記次長4人、執行委員14人が選任されました。とくに、新しく苅込さん、須永さんの女性執行委員と次世代の住崎さんが執行部に加わりスタートしました。

LINE 友だち募集中

@667ckybg



こみゅーとニュースなど組合員の皆さんに様々な情報をお知らせします。公式アカウントのお友達登録を、お願いいたします。

2024年度支部役員

執行委員長	宮田 清志	
副執行委員長	尼崎学	小野塚 洋行
	佐藤義見	福田 かつこ
	星 憲彦	三宅一也
書記長	大江拓実	
書記次長	北村 博昭	中山倫子
	宮本一	木口 栄
執行委員	石川 隆	石島 敦
	石澤 勝二	梅田 浩正
	苅込美津代	倉田 健介
	糀谷 明	佐藤 嘉宏
	清水 謙一	須永 杏子
	住崎 舟	寺川 知子
	前田 秀人	
	(書記次長 宮本 一)	

クリエーションなど多彩な活動を通して、さらなる発展を」と激励のあいさつをいただきました。

今年3月に東京地方裁判所で和解解決した、Mさんから、裁判傍聴などの支援のお礼が述べられ、東京法律事務所の笹山先生と本間先生から、東京地裁に提訴して1年足らずで和解調印の報告がされました。豪華お弁当と、北陸の日本酒などで、交流を深めました。

2024年度支部役員

支部執行委員長	益子 茂
支部副委員長	須賀和男
支部書記長	小川富弘
支部書記次長	湯本弘美
支部執行委員	赤澤一嘉
支部執行委員	梶原理子
支部執行委員	熊崎徹典
支部執行委員	佐々木早苗
支部執行委員	鈴木志麻
	(書記長 小川 富弘)

結成15周年を祝う 文京支部



CU東京文京支部第15回定期大会、終了後に結成15周年記念レセプションが行われました。

7月27日(土)10時30分から、文京区民センターで代議員、役員、来賓、争議団など38名の参加者で行われました。

定期大会では、活動報告、労働相談報告、会計報告を行い、活動方針、予算案の提案が行われ、活発熱心な討論・議論が展開されました。全て可決、承認されました。新執行部役員は、執行委員1名の追加を含めて選出されました。来賓の文京区労協の大谷議長から、10名足らずからスタートした文京支部が、140名に到達して、活発に活動していることを讃えました。

定期大会終了後に、CU文京支部組合結成15周年レセプションを開催いたしました。CU東京本部の高畠副委員長から、「相談活動やレ

12年目になりました 葛飾支部



7月28日(日)CU東京かつしか支部第12回定期総会を東京土建葛飾支部会館にて行いました。

CUかつしか支部は2013年3月に支部を結成し今年で12年目になりました。CU東京から白滝書記長の来賓挨拶をはじめ葛飾区労連、葛飾区議会議員、東京東部法律事務所様から挨拶を頂きました。

2024年度活動方針、2023年度活動報告、決算報告、監査報告、2024年度予算案、葛飾支部役員を全体の拍手で承認されました。

「高島もとあきの展望」 第3回

7月21日、韓国の民衆歌謡をけん引してきたキム・ミンギさんという歌手がなくなりました。73歳、代表作の「朝露」という曲は、韓国の民衆抗争の象徴のような曲でした。1980年代、この歌は朴正熙政権で放送禁止になった歌です。

頭の歌詞は、「長い夜をすごし、草葉に宿る 真珠より美しい朝露のように 心に悲しみが湧き出た時 朝の丘に立ち微笑みを浮かべる」とあり、美しい歌詞です。しかし最後に「悲しみ振り捨て私は行く」と、たたかいの決意もさりげなく表されています。

暗い夜は朴政権時代のこと、その試練を乗り越えて私は行くといったことを政権は批判ととらえたようです。

この歌は禁止になってからの方が学生たちに歌い継がれていきました。韓国民主化運動は歌を力にしたこの時代の若者たちが、様々な運動経験を積んで、先の文在寅政権に多く入ったといわれています。

現在の尹錫悦政権では再び弾圧が始まっています。しかし、彼らは3年後の大統領選挙めざして奮闘中でもあります。

もう一つ話題にしたい歌があります。1992年ロックグループの「THE BOOM」による「島唄」です。沖縄戦の中で住民を巻き込んで行われた戦闘を知らずに半生をすごしたと宮沢和史さんの「恥ずかしさ」と「怒り」から生まれた歌ということです。

「島唄」は皆さんよくご存じだと思います。沖縄民謡風のきれいな曲と、「でいご」「ウージ」「風」「海・波」「鳥」といったことがちりばめられた美しい歌詞となっています。

しかし、2005年にこの曲を作った宮沢和史さんが朝日新聞に語ったところによると、ほんとは「たった一人のおばあさんに聞いてもらいたくて」作った歌だそうです。「ひめゆり平和記念資料館」でおばあさんから「沖縄戦は本土決戦を引き延ばすために沖縄を犠牲に、住民を犠牲にした戦闘だった」と聞いたことが歌づくりのきっかけだったそうです。

「でいごの花が咲き風を呼び嵐が来た」というのは、「でいごの花が咲くころ米軍の沖縄攻撃が開始された」という意味で、「繰り返す悲しみは島わたる波のよう」というのは「多数の民間人が繰り返し犠牲となり、ひとびとの悲しみは島中に波のように広がった」。

「島唄よ風に乗って届けおくれ私の涙」は「沖縄の悲しみを本土に届けてほしい」ということだそうです。

ぜひ改めて聞いてみてください。日本でもこんな歌が作られたんだと改めて感動しました。今また沖縄を「捨て石」にしていくかのような事態が続いています。



2024年度支部役員

委員長 塚田共也
 副委員長 益子英治、 細貝文洋
 書記長 柳生秀行
 書記次長 山屋 英、 金丸秀義
 執行委員 菅野勝祐、 小川いずみ、
 小野寺忠、 竹馬和彦、
 千保法之
 会計監査 佐藤信一
 (書記長 柳生 秀行)

8月4日、品川支部は恒例のビアパーティを開き、交流を深めました。組合員の家族も参加してゲームなどで盛り上がりました。

夏なのにHOT！鉄板祭り 渋谷支部



8月3日土曜日渋谷支部も活躍する渋谷区労連女性センター準備会で、アフタヌーンティー番外編の鉄板祭りが開かれ、女性会議の伊東さんがCEDAW審議参加への訴えをしました。

《活動報告》

初めての宣伝行動 台東支部



7月17日入谷交差点ココス前で台東支部が結成されて初めての宣伝行動を11人の参加で行いました。

多くの労働者の賃上げにつながる最低賃金1500円を一日も早く実現させましょう

ビアパーティーで楽しく 品川支部



問題が残ったパリ五輪が終えた。汚染されたセーヌ川を泳がされて体調崩したなど、スポーツよりも観光優先の大会。前の東京大会は汚職にまみれた。巨大ビジネスと化した五輪。次はハリウッド資本の儲け口か

■二人のメダリスト議員が裏金にまみれていた。裏金自民党への憤懣世論は消えていない。政治を食物にした脱税・犯罪行為。統一協会と結んだ政策の癒着も清算されてはいない。そんな中、さっさと「一抜けた」の無責任首相には驚く。ただ居るだけの首相だったが、権威的で、国葬、増税、軍拡、原発回避、改憲の狼煙を上げ、円安・物価高に無策そのものは犯罪的だ

■自民党総裁選が耳目を集めるようメディアが仕掛けている。アベ政治批判をかわした「たたき上げ・パンケーキおじさん(菅)」「聞く力・岸田ノート(岸田)」。二の舞三の舞をせっせと演じている

■次の総裁候補らはそろって改憲派だ。金権政治は他人事、統一協会に無反省。「のど元過ぎれば」の政治に騙されてはならない。